

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第1部
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.tachibana.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取・買増請求、配当金の振込指定、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

各都市で『個人投資家向け会社説明会』を開催



7月に東京、8月に横浜、9月に大阪にて「個人投資家向け会社説明会」を開催。多数の方にご来場いただきました。

今後も定期的に開催していく予定で、知名度の向上と企業認知の拡大、さらに投資家・ファンの獲得に繋げられるように取り組んでまいります。

株主様向けアンケート 株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 8159

いいかぶ

検索

空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

携帯電話からもアクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。



●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media(エーツーメディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2mediaについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問合せ「e-株主リサーチ事務局」

TEL:03-5777-3900(平日10:00~17:30)
MAIL:info@e-kabunushi.com



株式会社 立花エレテック

〒550-8555 大阪市西区西本町一丁目13番25号
電話：06-6539-8800 FAX：06-6539-8821

<http://www.tachibana.co.jp/>

株主通信

第89期 中間報告書

2017年4月1日 ~ 2017年9月30日

変革・挑戦・飛躍
Change, Challenge, Jump-up



株式会社 立花エレテック

C.C.J2200 100th Anniversary in 2021

Electric & Electronics Technology

立花エレテックは電機・電子の「技術商社」です。

初のテレビCM「走り続ける技術商社」、放送開始

10月2日、サンテレビジョン(32ch)で始まった新番組「東京マーケットワイド」(平日の午前8時30分～10時)向けに、当社として初めてとなるテレビCMを放送開始しました。



投資家向け広報活動(IR)の一環として渡邊社長が定期出演しているネットテレビ局「ストックボイス」が制作する番組です。30秒CMは、1日2回放映(9時13分頃、9時58分頃)で、YouTubeにも動画をアップしています。



CMでは、若手社員による走る映像を多用し、「技術に夢をのせて走り続ける立花エレテック」を表現しました。また「4人に1人が技術者」という強みや「CHANGE」「CHALLENGE」「JUMP UP」による中長期経営計画「C.C.J2200」を推進中であることを訴えています。

業績ハイライト/事業ドメイン

業績ハイライト(連結)

売上高	前年同期比9.1%増	82,942 百万円	営業利益	前年同期比21.3%増	2,729 百万円
経常利益	前年同期比30.9%増	2,912 百万円	親会社株主に帰属する四半期純利益	前年同期比29.9%増	2,001 百万円

事業ドメイン

FAシステム事業

- FA機器
PLC、インバーター、ACサーボや配電制御機器さらに各種モーターの販売。
- FAシステムソリューション
生産設備を監視・計測・制御するシステムの構築やソリューションの提供。またロボットシステムの販売。
- 産業メカトロニクス
放電加工機、レーザー加工機またマニピュレーターなどの各種工作機械の販売。
- 産業デバイスコンポーネント
デジタル接続機器やコネクタ等の入出力機器またFAパソコンやネットワーク機器の販売。

半導体デバイス事業

規格品からユーザー仕様までニーズに合わせた半導体や電子デバイス製品の販売。さらにマイコン・ASICやカスタムLSIの設計開発。

施設事業

工場やオフィスビル・店舗における照明、空調、エレベーターや防災設備機器。また省エネに優れたオール電化製品の販売。

トータルソリューションでお客様の課題を解決



MS事業

電子機器の基板から完成品までの設計・製造受託(EMS)と立体駐車場や鉄道車両に使用される金属部材の加工・製造受託(MMS)。

海外事業

主に中国やアセアンなどのアジアに半導体、FA機器、放電加工機・レーザー加工機などの産業メカトロニクス製品の販売。



中長期経営計画の 達成に向け、本格始動。 成果の追求へ！

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

代表取締役社長 渡邊 武雄

Q 当中間期の業績の概要についてお聞かせください。

A 半導体業界の好調を受けてFAシステム、半導体デバイス事業が伸長し増収増益。また、すべての利益項目で中間期として過去最高を更新しました。

当社グループにおきましては、今年度を2015年度より推し進めてきました中長期経営計画「C.C.J2200」の本格的な刈り取り期と位置付け、7つの基本戦略の推進に鋭意取り組んでおります。また、AI(人工知能)やIoT(モノのインターネット)といった技術革新が進む中、次世代に対応する技術商社を目指すため、ソリューション事業と産業デバイスコンポーネント事業をFAシステ

ム事業に組み入れる機構改革を実施いたしました。このような取り組みの中で、世界的な半導体業界全体の好調を受け、半導体デバイス事業が大幅に伸長するとともに、半導体・液晶製造装置関連の積極的な設備投資需要を背景に、FAシステム事業も好調に推移いたしました。また、施設事業におきましても、人材増強の成果として、商圏の拡張が順調に進み伸長いたしました。その結果、当中間期の業績は、売上高829億42百万円(前年同期比9.1%増)、営業利益27億29百万円(前年同期比21.3%増)、経常利益29億12百万円(前年同期比30.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益20億1百万円(前年同期比29.9%増)で増収増益となりました。

Q 通期の業績見通しについてお聞かせください。

A 足元は好調に推移しており、通期計画の達成を目指します。

下期のスタートは、引き続き半導体業界に牽引され好調な滑り出しとなっております。民生・産業分野での半導体や電子デバイスの需要並びに裾野の広い半導体・液晶製造装置関連の設備投資需要を確実に取り込んでまいります。また、施設事業における首都圏、中部圏での人材増強によるさらなる商圏の拡張並びにFAシステム事業を中心としたロボットやセンサービジネスを強力に推進するなど中長期経営計画「C.C.J2200」の施策を着実に実行して成果を出してまいります。

以上のことから、通期の業績見通しは、売上高1,650億円、営業利益52億円、経常利益54億円、親会社株主に帰属する当期純利益37億円を予想しております。

今後も米国の政策運営や地政学的リスクの高まりが懸念されるなどの不安要素はありますが、引き続き足元の商談活動に対しては、ダボハゼの営業精神(どんな小さな案件でも食らいつき、確実に取っていく執念と実行力)で臨むとともに、C.A.P.UPで培った営業力を発揮し計画達成を目指してまいります。

Q 株主の皆様への還元についてお聞かせください。

A 年間4円増配及び株主優待制度を導入しました。

株主の皆様に対する利益還元につきましては、経営

の重要課題と認識しており、配当金及び自己株式の取得、株式分割など総合的な利益還元を以って報いてまいりたいと考えています。

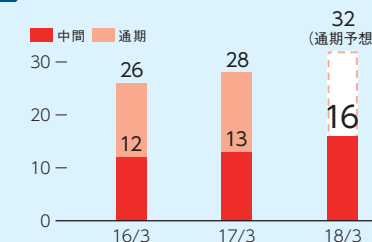
当期の中間配当金は、当初予定通り1株当たり16円とさせていただきます。期末配当見通しも16円として、年間配当金は前年比4円増配して32円とさせていただきます。

またこの度、株主の皆様の日頃からのご支援に感謝するとともに、当社株式への投資の魅力を高め、より多くの方に中長期的に保有していただけるよう、当期末より株主優待制度を導入いたします。年1回、保有株式数と継続保有期間に応じた額面のクオ・カードを贈呈いたします。(株主優待制度の詳細につきましては、P7のトピックスをご覧ください。)

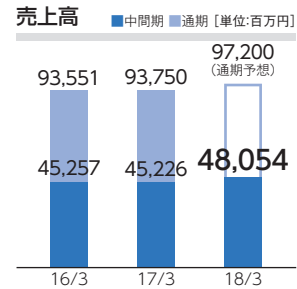
株主の皆様におかれましては、長期的な視点で当社グループの成長を見守っていただきたく、引き続き一層のご支援、ご協力をお願いいたします。

1株当たり配当金

[単位：円]



FAシステム事業



売上高 **480億54**百万円
(前年同期比 6.3%増)

売上高構成比 **57.9%**

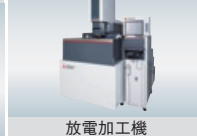
営業利益 **19億75**百万円



インバーター



放電加工機



レーザー加工機



産業用ロボット



タッチモニター



コネクター



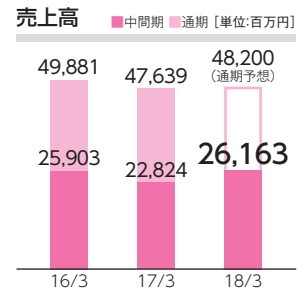
FAシステム事業は、裾野の広い半導体・液晶製造装置関連や自動車関連の設備投資が好調。これに伴いグループ全体で伸長しました。

■FA機器分野は、M2M(機器間通信)時代に必要なとするプログラマブルコントローラー、インバーター及びACサーボなど当社が得意とする主力機種が好調に推移しました。

■産業機械分野は、放電加工機、工作機械並びに製造ライン向け自動化設備が伸長しました。

■産業デバイスコンポーネント分野は、子会社の高木商会と大電社の主力製品であるコネクターを始めとした電子部材が大幅に増加しました。

半導体デバイス事業



売上高 **261億63**百万円
(前年同期比 14.6%増)

売上高構成比 **31.5%**

営業利益 **7億86**百万円



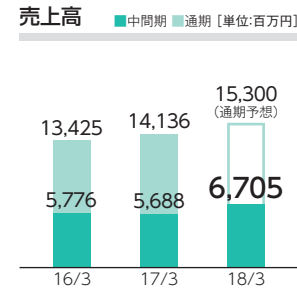
半導体デバイス事業は、民生・産業、いずれの分野も需要旺盛にて大幅に伸長しました。

■民生分野向けにメモリーカード、OA機器用密着イメージセンサーが大幅に伸長しました。

■産業分野向けのロジックIC、アナログICは好調に推移しました。

■海外では、日系顧客向け販売が好調に推移しました。

施設事業



売上高 **67億5**百万円
(前年同期比 17.9%増)

売上高構成比 **8.1%**

営業利益 **17**百万円



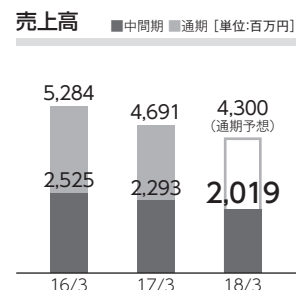
施設事業は、首都圏・中部圏の営業強化を目的とした人材増強の成果が現れ始め好調に推移しました。

■大型物流施設向けの昇降機や医療機関向けの監視制御設備などの物件が寄与し大幅に伸長しました。

■大型冷凍機等の低温機器並びにエコキュートや電気温水器は好調に推移しました。

■利益面では利益率の低い大型物件が伸長した反面、利益率の高い物件が減少したことや人材の先行投資に伴う人件費増の影響もあり、営業利益は減少しました。

その他



売上高 **20億19**百万円
(前年同期比 11.9%減)

売上高構成比 **2.5%**

営業損失 **50**百万円



■MMS分野の立体駐車場向け金属部材が好調に推移しました。

■EMS分野の自動車関連向けの電子機器製造受託の新規案件が大幅に伸長しましたが、大口案件が終息したことにより減少しました。

■利益面では人材の先行投資に伴う人件費増の影響も加わり営業損失が拡大しました。

(注)本年4月に実施した機構改革により、報告セグメントを変更しました。「産業デバイスコンポーネント事業」と「その他」に含めていた「ソリューション事業」を第1四半期連結会計期間より「FAシステム事業」に組み入れました。なお、当第2四半期連結累計期間の比較については変更後の区分に基づいています。

“技術商社”立花エレテックの得意技

～ソリューション成功事例集のご紹介～
<http://tachibana-tokuiwaza.com/>

各事業にて技術商社として培ってきた技術力と豊富な実績に基づいたコンサルティングでお客様の課題を解決します。業種や導入効果、ソリューションから絞り込み検索が可能です。是非ご覧ください。



TOPICS

株主優待制度を導入いたします

当社株式への投資の魅力を高め、より多くの皆様に中長期的に当社株式を保有していただけるよう、株主優待制度を導入いたします。

●対象となる株主様

2018年3月31日現在、100株(1単元)以上保有の株主様。

●優待制度の内容

毎年3月31日現在の保有株式数と継続保有期間に応じてクオ・カードを年1回贈呈(6月下旬発送を予定)。2021年3月31日以降は、3年以上継続して保有の場合、保有株式数に応じて1,000円分または2,000円分の増額がございます。

ご所有株式数100株以上で

保有期間3年未満

クオ・カード 2,000円分

保有期間3年以上(2021年3月31日以降)

クオ・カード 3,000円分

ご所有株式数1,000株以上で

保有期間3年未満

クオ・カード 3,000円分

保有期間3年以上(2021年3月31日以降)

クオ・カード 5,000円分



▶ 四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期末 (2017年9月30日現在)	前期末 (2017年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	87,558	79,207
現金及び預金	16,926	13,065
受取手形及び売掛金	56,683	53,925
たな卸資産	11,153	9,674
その他	2,796	2,543
固定資産	27,373	24,863
有形固定資産	5,428	5,641
無形固定資産	311	350
投資その他の資産	21,633	18,871
資産合計	114,931	104,070
負債の部		
流動負債	47,354	40,366
支払手形及び買掛金	40,323	33,882
短期借入金	1,668	1,610
その他	5,363	4,874
固定負債	3,418	2,739
長期借入金	1	56
退職給付に係る負債	352	368
その他	3,065	2,314
負債合計	50,773	43,105
純資産の部		
株主資本	55,658	54,036
その他の包括利益累計額	7,085	5,556
非支配株主持分	1,413	1,371
純資産合計	64,157	60,964
負債純資産合計	114,931	104,070

▶ 四半期連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期(累計) (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	前第2四半期(累計) (自2016年4月1日 至2016年9月30日)
売上高	82,942	76,032
売上総利益	11,071	10,055
販売費及び一般管理費	8,341	7,805
営業利益	2,729	2,250
経常利益	2,912	2,225
税金等調整前四半期純利益	2,954	2,241
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,001	1,541

▶ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期(累計) (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	前第2四半期(累計) (自2016年4月1日 至2016年9月30日)
営業活動による キャッシュ・フロー	4,846	2,448
投資活動による キャッシュ・フロー	△546	△574
財務活動による キャッシュ・フロー	△383	△728
現金及び現金同等物に係る 換算差額	△58	△538
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	3,858	608
現金及び現金同等物の 期首残高	9,894	10,863
現金及び現金同等物の 四半期末残高	13,753	11,471

株式の状況

(2017年9月30日現在)

発行可能株式総数	96,000 千株
発行済株式総数	26,025 千株
株主数	4,133 名

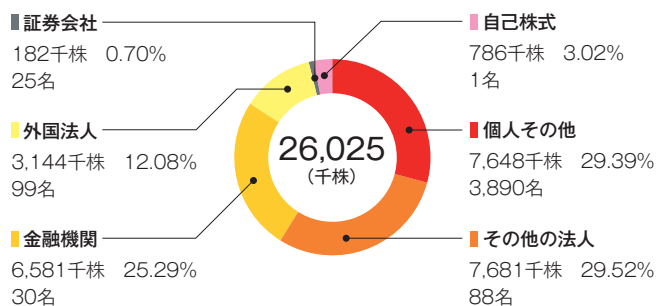
大株主

株主名	持株数	持株比率
三菱電機株式会社	1,921 (千株)	7.61 (%)
株式会社サンセイテクノス	1,478	5.86
KBL EPB S.A. 107704	1,369	5.43
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,300	5.15
立花エレテック従業員持株会	1,118	4.43
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,082	4.29
株式会社きんでん	754	2.99
株式会社ノーリツ	742	2.94
佐竹 千草	491	1.95
日本生命保険相互会社	471	1.87

(注) 1. 千株未満は切り捨てて表示しております。
 2. 上記のほか、当社が保有する自己株式が786千株あります。
 3. 持株比率は自己株式786千株を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況

(2017年9月30日現在)



(注) 千株未満は切り捨てて表示しております。

会社概要

(2017年9月30日現在)

商号	株式会社 立花エレテック
英文社名	TACHIBANA ELETECH CO.,LTD.
創業	1921年(大正10年)9月1日
設立	1948年(昭和23年)7月12日
資本金	58億74百万円
従業員数	821名(連結1,294名)
株式上市	東証一部
ISO取得	品質マネジメントシステム ISO9001 JQA-QMA10303 環境マネジメントシステム ISO14001 JQA-EM1654 情報セキュリティマネジメントシステム ISO27001 IS 509430



取締役・監査役・執行役員

(2017年9月30日現在)

代表取締役社長 社長執行役員	渡邊 武雄	常務執行役員	高見 尚志
取締役 専務執行役員	山口 均	執行役員	松野 秀樹
取締役 専務執行役員	高見 真行	執行役員	米田 浩
取締役 常務執行役員	布山 尚伸	執行役員	植田 裕和
取締役	相川 洋一	執行役員	多田 満
取締役	辻川 正人	執行役員	相澤 忠範
常勤監査役	増田 厳一	執行役員	松浦 良典
監査役	大谷 康弘		
監査役	塩路 広海		

事業所

(2017年9月30日現在)

本社	大阪市西区西本町1丁目13番25号	営業所	東北(宮城県)
支社	東京(東京都)、名古屋(愛知県)		東海(愛知県)
支店	東関東(茨城県)、北関東(埼玉県)、神奈川(神奈川県)、三河(愛知県)、北陸(石川県)、三重(三重県)、滋賀(滋賀県)、南大阪(大阪府)、神戸(兵庫県)、姫路(兵庫県)、広島(広島県)、四国(香川県)、九州(福岡県)		

関係会社

(2017年9月30日現在)

国内	海外
研電工業株式会社	立花オーバーシーズホールディングス社
株式会社立花宏とシステムサービス	タチバナセールス(シンガポール)社
株式会社テクネット	マレーシア営業所
株式会社大電社	タチバナセールス(香港)社
株式会社立花デバイスコンポーネント	台湾立花股份有限公司
株式会社高木商会	立花機電貿易(上海)有限公司
	支店: 北京、深圳 営業所: 武漢、大連、青島
	タチバナセールス(韓国)社
	タチバナセールス(バンコク)社
	タチバナセールス(インドネシア)社
	中華人民共和国(香港) シンガポール
	中華人民共和国(香港) 台湾(台北市)
	中華人民共和国(上海市)
	大韓民国(ソウル市)
	タイ王国(バンコク)
	インドネシア(ジャカルタ)

